

ハザードマップ凡例について

洪水浸水想定とは

洪水により相当な被害が生ずる恐れがある「水位周知河川」等において、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、洪水が発生した場合に想定される浸水深等を表したものです。

洪水ハザードマップは**大阪府洪水リスク表示図**をもとに作成しています。

大阪府洪水リスク表示図は水防法に基づき作成されたデータではないため、

洪水ハザードマップは水防法第14条に基づいたマップではありません。

洪水ハザードマップ 凡例

浸水した場合に想定される水深(洪水)		家屋倒壊等氾濫想定区域
… 5.0m以上	…～1.0m未満	氾濫流
…～5.0m未満	…～0.5m未満	河岸侵食
…～3.0m未満		

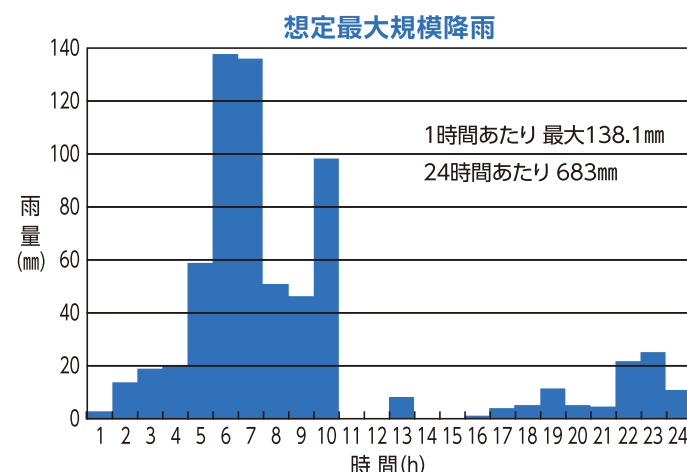
洪水浸水想定は大阪府洪水リスク表示図(想定最大規模降雨)をもとに作成しています。

【洪水リスク表示図とは】

大阪府で定めた「今後の治水対策の進め方(平成22年6月)」に基づき、人命を守ることを最優先に、様々な降雨により想定される河川の氾濫や浸水の可能性を府民にわかりやすく示し、地域住民の方々と情報共有するとともに、生命を守るための避難行動につなげてもらうことを目的に、大阪府が独自で作成したものです。

※水防法に基づくものではありません。

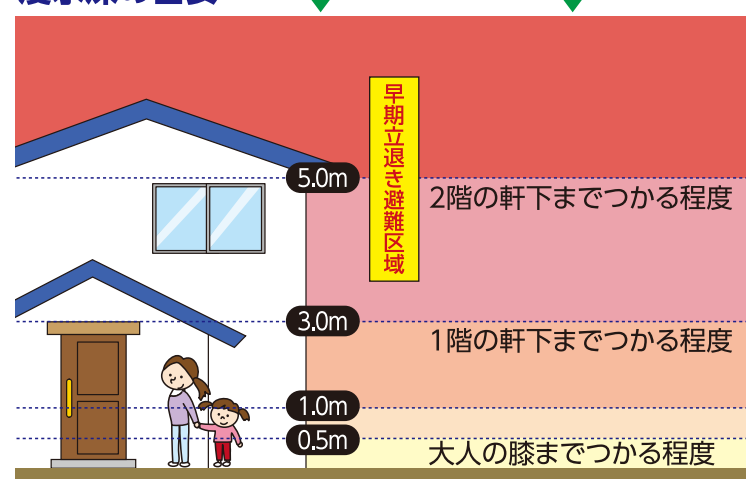
大阪府 洪水リスク表示図
<https://www.river.pref.osaka.jp/>



浸水深の目安

浸水深

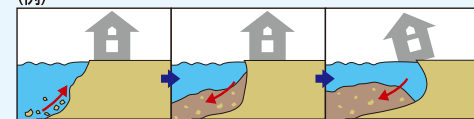
水深の目安



河岸侵食(かがんしんしょく)

激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られること

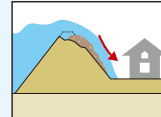
(例)



氾濫流(はんらんりゅう)

堤防の決壊に伴う激しい流れのこと

(例)



早期立退き避難区域について

家屋倒壊等氾濫想定区域と家屋が水没する恐れがある区域(浸水深3m以上)は早期の立退き避難が必要な区域です。**この区域にお住まいの方は、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示を待たずに自主的に避難することをご検討ください。**

内水ハザードマップ 凡例

浸水した場合に想定される水深(内水)

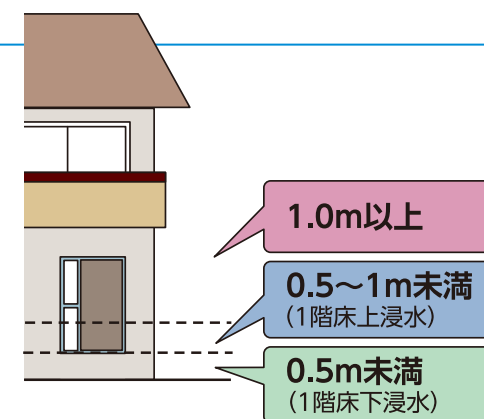
… 1.0m以上
…～1.0m未満
…～0.5m未満

●内水浸水想定は

水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が降った場合の情報を元にした大阪府のデータ(寝屋川流域下水道 内水浸水想定区域図 想定最大規模降雨(生駒山観測所))を使用して作成しています。

想定最大規模降雨

1時間内	147mm
80分雨量	169mm
24時間総雨量	397.5mm



内水ハザードマップは水防法第14条の2に基づいたマップです。

土砂災害ハザードマップ 凡例

土砂災害

…土砂災害特別警戒区域(土石流)	…土砂災害特別警戒区域(急傾斜)
…土砂災害警戒区域(土石流)	…土砂災害警戒区域(急傾斜)

●土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害防止法に基づき指定された、土砂災害のおそれのある区域です。この区域内に対して、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等が求められます。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に危害が生じるおそれがある区域です。

上記の区域に指定されていない場合であっても洪水、内水、土砂災害の被害が発生する場合や、想定される被害の程度が実際の被害の程度と異なる場合があります。

要配慮者利用施設 凡例

…要配慮者利用施設

社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設で、その利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図る必要があることから、各施設の防災対策の参考のためハザードマップ上に表示しています。